

2015年12月期決算 前年同期比較資料



ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード:8179)

2016年2月15日

■ 2015年12月期決算 連結業績	… 2
■ セグメント別 売上高・経常利益	… 4
■ 2016年12月期 連結業績予想	… 9
■ 注意事項	… 11

1. 連結損益計算書

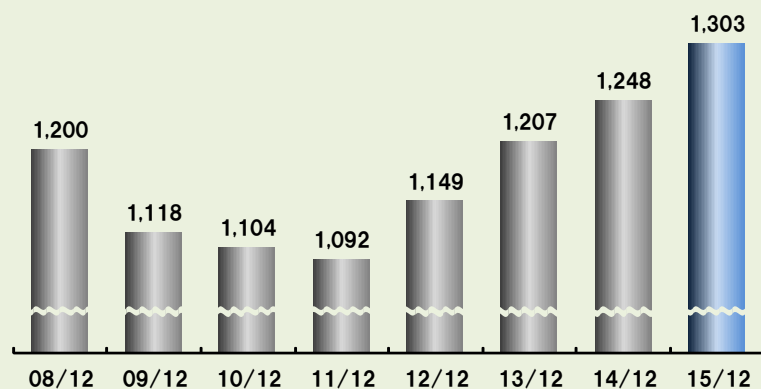
4期連続の増収増益を達成

(単位:百万円)	2014年 12月期	2015年 12月期	前期比	前期増減
売上高	124,857	130,327	104.4%	+ 5,470
販売費及び一般管理費	80,741	83,729	103.7%	+ 2,988
営業利益	4,417	4,899	110.9%	+ 482
経常利益	4,579	5,021	109.7%	+ 442
当期純利益	1,866	2,728	146.2%	+ 862

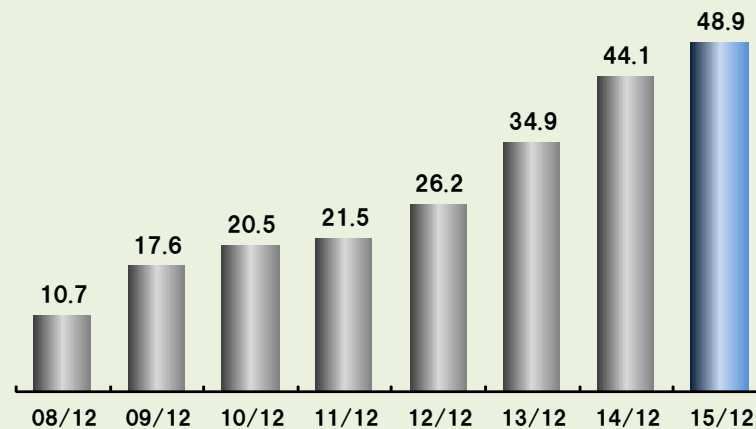
2. 連結業績推移

4期連続の増収増益、経常利益は7期連続の増益

売上高

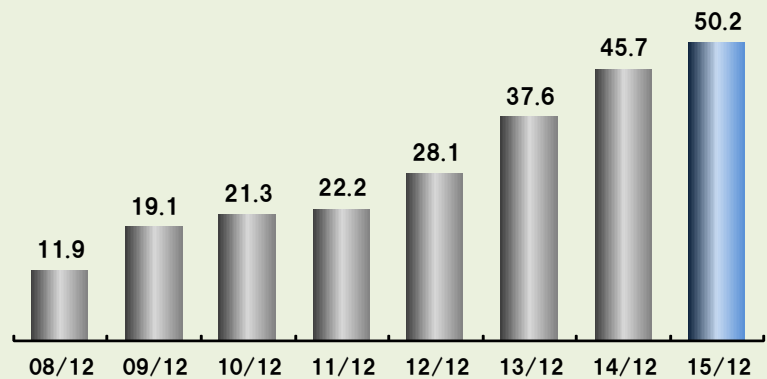


営業利益

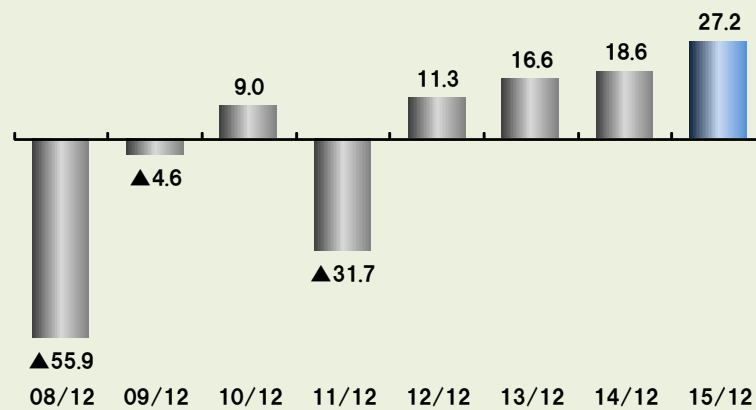


(単位:
億円)

経常利益



当期純利益



3. セグメント別 売上高・経常利益

ホテル事業が大幅増益、外食事業、コントラクト事業も増益

(単位:百万円)	売上高					経常利益		
	2014年	(占有)	2015年	(占有)	前年差	2014年	2015年	前年差
合計	124,857		130,327		5,470	4,579	5,021	442
外食事業	61,229	49.0%	62,892	48.3%	1,663	2,996	3,112	116
コントラクト事業	31,500	25.2%	32,990	25.3%	1,489	1,093	1,107	14
機内食事業	8,284	6.6%	8,146	6.3%	▲137	636	410	▲225
ホテル事業	20,174	16.2%	22,246	17.1%	2,072	2,701	3,404	703
食品事業・その他事業	13,671	10.9%	14,517	11.1%	846	651	460	▲190
全社部門・消去	▲10,002	-%	▲10,466	-%	▲463	▲3,498	▲3,474	24

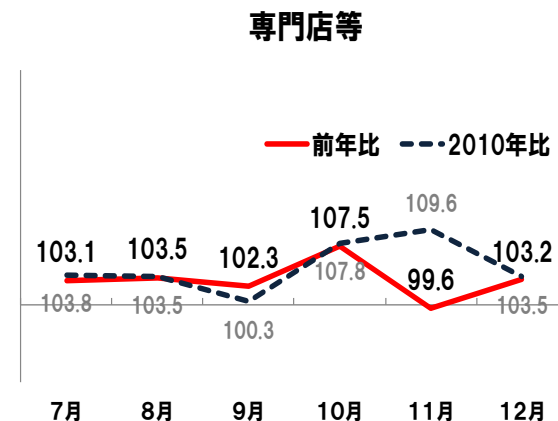
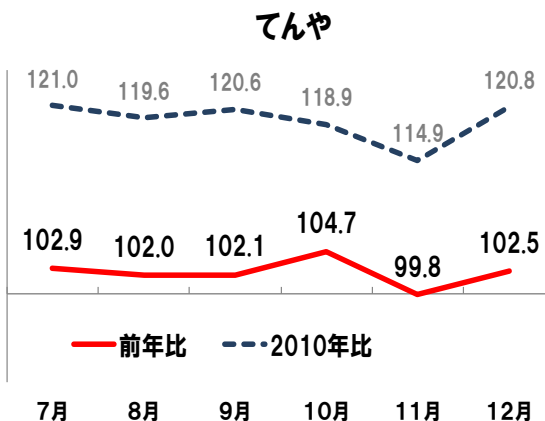
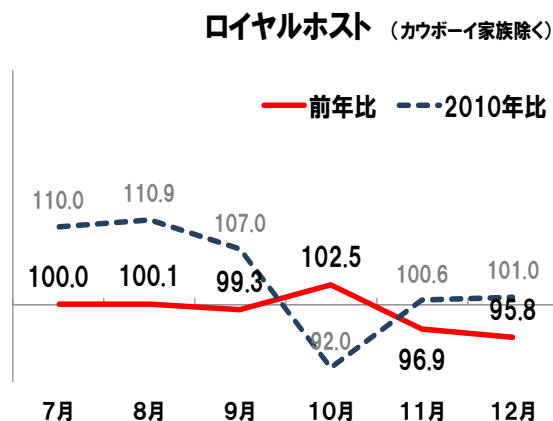
※売上高は内部売上を含む

4. 外食事業

ロイヤルホストは減収減益に終わったが、
てんやと専門店が好調を維持し、セグメント利益は増益

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2014年		2015年		前年同期比較	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	61,229	2,996	62,892	3,112	+ 1,663	+ 116
ロイヤルホスト事業 (カウボーイ家族他含む)	39,264	2,098	39,004	1,898	▲ 260	▲ 200
てんや事業	11,677	357	12,941	531	+ 1,264	+ 174
専門店等	10,289	542	10,948	684	+ 659	+ 142

《 既存店売上前年比 推移(%) 》

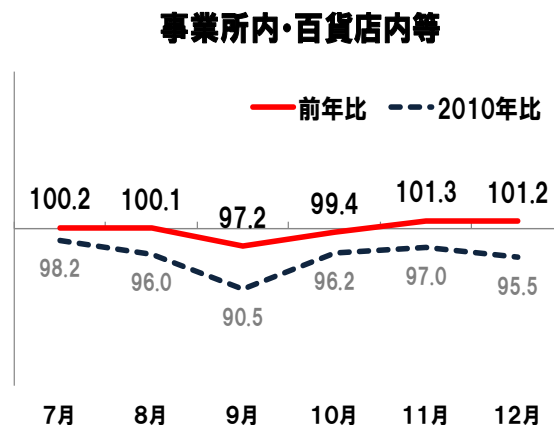
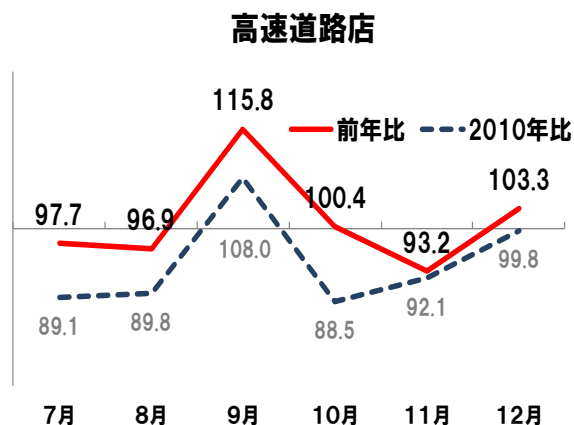
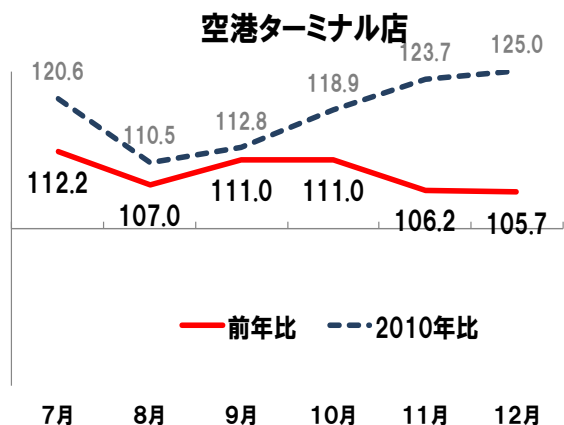


5. コントラクト事業

下半期に高速道路店の大型改装も行き、空港店の好調と前期新店の貢献により、セグメント利益は、ほぼ前年並み

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2014年		2015年		前年同期比較	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コントラクト事業	31,500	1,093	32,990	1,107	+ 1,489	+ 14
高速道路・空港ターミナル	17,076	785	18,176	825	+ 1,100	+ 41
事業所内給食等	14,425	309	14,814	283	+ 389	▲ 26

《 既存店売上前年比 推移(%) 》

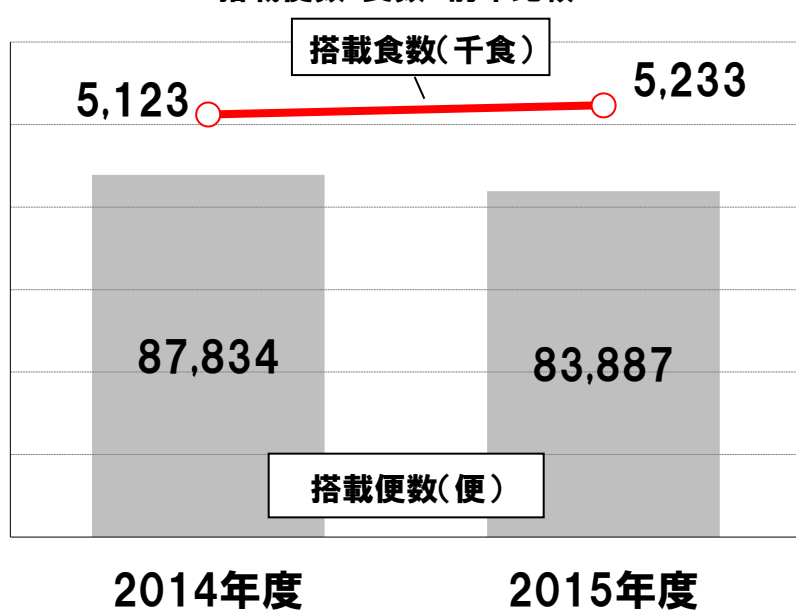


6. 機内食事業

下半期は売上回復基調となったが、路線運休や契約変更、
 沖縄工場開業費用等の上半期の減益により、通期で減収減益

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2014年		2015年		前年同期比較	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
機内食事業	8,284	636	8,146	410	▲ 137	▲ 225

搭載便数・食数 前年比較



7月1日
 沖縄新工場
 開業



(ハラル認証)

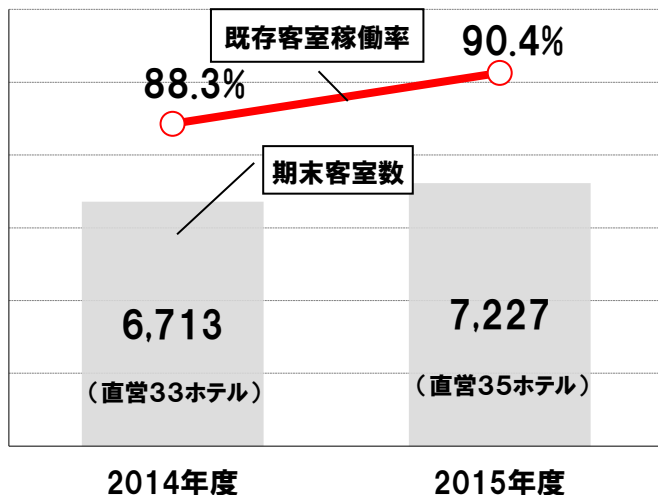


7. ホテル事業

下半期に大型改装1店、新規出店2店も行い、
既存店の好調と前期新店の貢献で増収増益

(売上高は内部売上含む) (単位:百万円)	2014年		2015年		前年同期比較	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
ホテル事業	20,174	2,701	22,246	3,404	+ 2,072	+ 703
既存店・間接	19,871	2,730	21,239	3,495	+ 1,368	+ 765
新規開業効果(開業準備含む)	303	▲29	1,007	▲91	+ 704	▲62

期末客室数・既存客室稼働率 前年比較



※稼働率は2014年以降開業を除く直営合計、期末客室数は改装休業中を除く

8. 2016年12月期 予想 / 予想の前提

事業環境

経済環境は国内外ともに先行き不透明感が増しており、消費は弱含むと予想

外食事業

ロイヤルホスト
(カウボーイ家族)

出店で規模を追うのではなく、高付加価値商品、サービスを安定して提供できる業態への進化に注力、既存店への投資も継続

てんや

直営店と国内外FC店の展開を継続、駅前店、ロードサイド店に加え、ドライブスルー店も計画

専門店

既存業態の生産性向上による事業化を進めるとともに、長期的な市場変化に合った新業態の開発も継続

コントラクト事業

空港・高速

インバウンドのさらなる増加、ガソリン価格の低下などにより、堅調を予想、オーナーの信頼に応え、既存拠点の維持にも注力

B&I, 百貨店他

社員食堂、病院内、官公庁内飲食等のアセットライトの業態を安定的に出店

機内食事業

競争激化による価格低下の是正、各工場での新規受注に注力し増益基調への転換を図る

ホテル事業

新規1店出店による経費と、修繕の前倒し実施による経費を、前年開業ホテルの収益安定化とインバウンドの増加への対応でカバーし、さらなる増益を確保する

9. 2016年12月期 連結業績予想

外部環境が不透明な中、5期連続の増収増益を予想

(単位:百万円)	2015年 12月期	2016年 12月期予想	前期比	前期増減
売上高	130,327	134,000	102.8%	+ 3,673
営業利益	4,899	5,600	114.3%	+ 701
売上比	3.8%	4.2%		
経常利益	5,021	5,600	111.5%	+ 579
売上比	3.9%	4.2%		
当期純利益	2,728	2,750	100.8%	+ 22
EBITDA	10,496	11,800	112.4%	+ 1,304
ROA	5.8%	6.0%		+ 0.2%

EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息(ネット)

ROA = 経常利益 ÷ 総資産(平均)

- ・ **本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。**
- ・ **本資料に記載している営業利益・経常利益・当期（四半期）純利益については、それぞれ営業損失・経常損失・当期（四半期）純損失の場合に▲で表示しております。**
- ・ **本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。**

本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務企画部IR室

電話：03-5707-8873 眞柳(まやなぎ)・本山(もとやま)